

第1回チャレンジコミュニティ・クラブ定期総会、平成28年度ホームカミングデイ特別講演会、交流会が7月16日14時より明治学院大学白金校舎2301教室及びパレットゾーンにて開催されました。ホームページ版として皆様に当日の様子をお伝えいたします。

## 第1回チャレンジコミュニティ・クラブ定期総会

丸山保夫副代表の司会で14時05分に始まり、斎藤正精世話人代表が議長となり議事を進行しました。来賓の方を含め約110名が参加し、質疑応答があり、第3号議案については一部修正を前提として、以下の項目が承認され、15時20分に散会となりました。

第1号議案 2015年度活動報告

第2号議案 2016年度活動計画

第3号議案 規約改定の件

第4号議案 役員選任の件

総会の詳細は後日議事録が公表されます。

総会運営などの意見をお送りください。

メール送付先は会員用ホームページ版に掲載されております。



## 平成28年度CCクラブ・ホームカミングデイ特別講演会

定期総会に引き続き、15時35分より約110名が参加し、ホームカミングデイ特別講演会が開催されました。岩村道子(1期)さんが講演者を紹介し始まりました。講演者は東邦大学名誉教授・東京都民文化栄誉賞受賞者長谷川博様で、「ぼくのライフワークはアホウドリの再生」をテーマに約1時間10分間の講演でした。

長谷川博様は40年以上にわたり、国際保護鳥であるアホウドリの研究と保護、再生活動を鳥島で実践されており、無人島での暮らしや調査活動の話がされました。スタートした1985年は47羽でしたが、今シーズンは鳥島から472羽のひなが巣立ち、総個体数は推定で4,200羽になり、大きな成果を上げています。

活動の第1ステップは繁殖成功率を上げるための営巣地保全活動でした。その後、地滑りが発生したため、第2ステップでは新コロニーへの移動作戦です。また、長谷川氏はアホウドリの呼び名を「オキノタユウ」に変える運動にも力を入れております。今後のオキノタユウの更なる繁殖が期待できます。



## 交流会

17時30分からはパレットゾーンに会場に移し、約100名が参加しました。丸山保夫副代表が司会をし、高輪地区総合支所・協働推進課大澤鉄也課長の乾杯で始まり、会員の親睦を図り、野村知義地域連携部会長の挨拶で18時40分に散会となりました。

